

「米国病院船マーシー東京寄港に係る企画検討会」の開催について

平成 29 年 12 月 4 日
内閣府政策統括官（防災担当）決定

1. 開催の趣旨

南海トラフ地震や首都直下地震など大規模災害時には、膨大な数の負傷者が発生し、被災地内の医療需給が大きく崩れることが想定されるため、陸上の医療施設を補完する方策の一つとして、船舶を活用した医療活動がこれまで検討されてきた。

米国においては、海軍が病院船「マーシー」を保有し、米軍部隊の海外作戦における傷病兵に対する医療支援や米国が世界規模で実施する災害救援や人道支援に活用されているところ、我が国の災害医療への示唆を得るため、平成 30 年に米国病院船「マーシー」の東京港への招致を予定している。

米国病院船「マーシー」の東京寄港に際しては、その保有する大規模災害における傷病者への対応能力等を災害医療関係者や防災関係者が広く学ぶ機会とすることが重要であり、見学会・訓練のほか、災害医療関係者・防災関係者等によるセミナー、シンポジウムなどを企画し、米国病院船「マーシー」の東京港への寄港を最大限に有意義なものとする必要がある。そのため、米国病院船「マーシー」の東京寄港に係る企画立案及びその成果のとりまとめに際して、災害医療関係者をはじめとする有識者及び関係省庁の意見を伺うことを目的として、米国病院船マーシー東京寄港に係る企画検討会を開催する。

2. 構成員

- (1) 検討会の構成は、別紙のとおりとする。
- (2) 検討会の委員は、必要に応じ、その他の関係者の出席を求めることができる。

3. 検討会の庶務

検討会の庶務は、内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（災害緊急事態対処担当）室において処理する。

4. その他

前各項に定めるもののほか、検討会の運営に関する事項その他必要な事項は、委員が定める。

(別紙)

米国病院船マーシー東京寄港に係る企画検討会

委員名簿

跡見	裕	杏林大学学長
小井土	雄一	厚生労働省 DMAT 事務局局長、日本集団災害医学会代表理事
砂田	向亮	公益社団法人モバイル・ホスピタル・インターナショナル理事長
山口	芳裕	杏林大学教授、東京 DMAT 運営協議会会長
横田	裕行	日本医科大学大学院教授、日本救急医学会代表理事
吉井	秀彦	防衛省 海上幕僚監部 衛生企画室 医務衛生官
三浦	逸広	内閣官房 内閣参事官（内閣官房副長官補（内政担当）付）
岩下	剛	内閣官房 副長官補（事態対処・危機管理担当）付 内閣参事官
須藤	明裕	内閣府 政策統括官（防災担当）付参事官（災害緊急事態対処担当）
野本	祐二	消防庁 消防・救急課 救急企画室長
本間	和義	消防庁 国民保護・防災部防災課 広域応援室長
有吉	孝史	外務省 北米局 日米安全保障条約課長
徳本	史郎	厚生労働省 医政局 地域医療計画課 救急・周産期医療等対策室長
吉田	健	国土交通省 大臣官房参事官（運輸安全防災）
金子	修久	海上保安庁 警備救難部 環境防災課長
矢田	純子	防衛省 防衛政策局 国際政策課 国際安全保障政策室長
得津	馨	防衛省 人事教育局 衛生官
山口	剛	防衛省 統合幕僚監部参事官付 政策調整官
小澤	洋之	東京都 総務局 総合防災部 防災対策課長
清武	直志	東京都 福祉保健局 医療政策部 災害医療担当課長
山本	登	東京消防庁 防災部 震災対策課長

事務局 内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（災害緊急事態対処担当）付